

二 十年七月一七日 一八日 土曜礼拝・聖日礼拝

説教者 青木保憲師 今井直喜師

『New Action! New Habits!』

エフエソ書四章二二節 五章二節

メッセージメモ

4:22 だから、以前のよつな生き方をして情欲に迷わされ、滅びに向かつている古い人を脱ぎ捨て、4:23 心の底から新たにされて、4:24 神にかたどって造られた新しい人自身に着け、真理に基づいた正しく清い生活を送るようになければなりません。

A. ここでパウロは「古い人」、「新しい人」という表現で、以前の悪習慣からの解放を訴えている。これは「着る」と表現されているが、着せ替え人形のように感情の赴くままにころころと替えられるものではない。23節にあるように「心の底から」の変化を起こす「大（ ）を意味している。

4:25 だから、偽りを捨て、それぞれ隣人に対して真実を語りなさい。わたしたちは、互いに体の一部なのです。

4:26 怒ることがあっても、罪を犯してはなりません。日が暮れるまで怒ったままでいてはいけません。4:27 悪魔にすきを与えてはなりません。

4:28 盗みを働いていた者は、今からは盗んではいけません。むしろ、労苦して自分の手で正当な収入を得、困っている人々に分け与えるようにしなさい。

4:29 悪い言葉を一切口にしてはなりません。ただ、聞く人に恵みが与えられるように、その人を造り上げるのに役立つ言葉を、必要に応じて語りなさい。

B. 古き人を身につけ続けるといふことは、「悪魔にすきを与える」ことになる。そうならないために、新しい服を着続けるといふことが必要になる。こうなると、自分がその生き方を（ ）とすることになる。

C. 具体的にパウロは三つの例を挙げている。一つ目は、怒りを持続させてはいけないということ。二つ目は、盗みを常習とする者は正しい道を進む決心をせよということ。三つ目は悪い言葉を出さないことを（ ）すること。

4:30 神の聖霊を悲しませてはいけません。あなたがたは、聖霊により、贖いの日に対して保証されているのです。

4:31 無慈悲、憤り、怒り、わめき、そしりなどを、一切の悪意と一緒に捨てなさい。

4:32 互いに親切にし、憐れみの心で接し、神がキリストによってあなたがたを赦してくださったように、赦し合いなさい。

D. このような新しい生き方を私たちにもたらす存在として、パウロは聖霊に注目するよう述べる。そしてこの聖霊との交わりを通して私たちに起こる基本的な変化は、相手を（ ）ことである。

91 あなたがたは神に愛されている子供ですから、神に倣う者となりなさい。

92 キリストがわたしたちを愛して、御自分を香りのよい供え物、つまり、いけにえとしてわたしたちのために神に献げてくださったように、あなたがたも愛によって歩みなさい。

93 新しい生き方、そしてそれを習慣とする時、私たちは真実互いに（ ） ことができるようになる。そしてその生き方は、キリスト者の中で特別なものではなく、すべての神の子が、そのような歩みをするよう、薦められているのである。

A 転換 B 習慣 C 継続 D 赦す E 愛しあう

メッセージポイント

「怒らず、奪わず、罵らない」生き方を、（ ） 実践しよう。

ローマ信徒への手紙 二章二節

この世と調子を合わせてはいけません。いやむしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえ知るために、心の一新によって自分を変えなさい。

聖霊との交わりを（ ）

して生きよう。

第二コリント九章一二節～一三節

なぜなら、この奉仕のわざは、聖徒たちの必要を十分に満たすばかりでなく、神への多くの感謝を通して、満ちあふれるようになるからです。このわざを証拠として、彼らは、あなたがたがキリストの福音の告白に対して従順であり、彼らに、またすべての人々に惜しみなく与えていることを知って、神をあがめることでしょう。